

第115期 中間事業のご報告

株主通信

2024年4月1日～2024年9月30日

株式会社 椿本チエイン

証券コード | 6371

企業価値向上に向け、 迅速かつ積極果敢に挑戦していきます。

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年度中間期の連結業績について

2024年度中間期の連結業績は、売上高1,363億円、営業利益94億円(営業利益率6.9%)となりました。

米国経済が堅調に推移したほか、欧州経済もインフレ圧力の緩和を受け持ち直しの動きが持続するなど、世界経済が緩やかに回復したことにより、当社業績についても前年同期比5.9%の増収となりました。営業利益についても、9.7%の増益となりましたが、円安の継続による仕入価格の上昇などコスト圧力の高まりなどを受け、営業利益率は6.9%と前年同期比0.2ポイントの改善にとどまりました。

売上高	1,363億60百万円(前年同期比 +5.9%)
営業利益	94億59百万円(前年同期比 +9.7%)
経常利益	112億25百万円(前年同期比 +8.3%)
親会社株主に 帰属する 中間純利益	100億14百万円(前年同期比 +37.2%)

2024年度の通期連結業績予想について

2024年度の通期連結業績予想については、事業環境や足元の受注状況を鑑み、下表のとおり修正いたしました。

売上高	2,740億円(前期比 +2.7%)
営業利益	200億円(前期比 ▲5.9%)
経常利益	220億円(前期比 ▲6.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	200億円(前期比 +7.8%)

世界およびわが国経済は、中東情勢の緊迫化や中国経済の回復遅延、米国の大統領選挙などにより不透明感が強まるものと想定しておりますが、当社グループは「2030年のありたい姿」の実現に向け課題に真正面から取り組み、迅速かつ積極果敢な挑戦を続けてまいります。また、社会課題の解決に貢献する企業グループとして、サステナビリティ活動にも注力してまいりますので、株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2024年12月

代表取締役会長
兼 CEO
古世 憲二

代表取締役社長
兼 COO
木村 隆利



※CEO : Chief Executive Officer (最高経営責任者)
 COO : Chief Operations Officer (最高執行責任者)

発展著しい環インド洋地域における 事業拡大を推進

前号でご紹介したTsubakimoto Singapore Pte. Ltd.に加え、さらなる経済成長が期待される環インド洋地域では、Tsubaki Australia Pty. Limited(以下、TAL)およびTsubakimoto Automotive (Thailand) Co., Ltd. (以下、TAT)が事業拡大に注力しています。

オーストラリアでパワートランスミッション部品の製造販売・メンテナンス事業をメインに事業展開を進めるTALと、タイで自動車部品の製造販売で顧客から高い信頼を獲得しているTATの2社をご紹介します。



Tsubaki Australia Pty. Limited

トップメッセージ



村島 功樹
[むらしま かつき]
Managing Director

TALは1987年に設立、オーストラリア国内の4拠点(シドニー、メルボルン、パース、ブリスベン)で、主にオーストラリアとニュージーランドに向けて、チェーンやモーションコントロール製品を中心に営業・販売を行ってきました。マイニング、食品・包装、製材など、多岐にわたる業界に製品を納入しています。現在取り組んでいる中期経営計画2025のテーマのひとつとして、さらなる成長を目的に、アフターサポート事業(プロサービス)の展開に注力しています。製品販売後もお客様とのエンゲージメントを維持し、点検などのアフターサポートを通じて、競合他社よりも早くお客様の困りごとに耳を傾け、お客様の期待を超えるようなソリューションを提供することにより事業拡大を目指していきます。

TALのここが自慢です!



紹介者
Artur Wiedmann
Project Engineer

2024年2月、TAL本社はシドニー近郊の新設工業団地に移転しました。従業員が働きやすいオフィス環境づくりの取り組みとして、高さ調整が可能な昇降デスクを導入したほか、オンライン会議に便利な防音スペースも設置するなど、業務に集中できる環境を整えました。また、オフィスがあるスイッチヤード工業団地の入り口にはPiccolo meというカフェがあります。このカフェからケータリングサービスを頼んで、オフィスでランチミーティングをすることも。従業員同士で食事に出かけたりするなど、コミュニケーションの向上に役立っています。



紹介者
John Mourad
Project Engineer



ちょっと寄り道

TALの本社所在地シドニーでは、毎年5月～6月に「Vivid Sydney」が開催され、シドニーの至るところでライトアップやプロジェクションマッピングが実施されます。南半球に位置するオーストラリアは、日本とは季節が真逆のため開催時期は肌寒いですが、澄んだ夜空に光り輝くオペラハウスなどは非常に美しく、一見の価値あり!です。





Tsubaki Australia
Pty. Limited

Tsubakimoto
Automotive
(Thailand) Co., Ltd.



Tsubakimoto Automotive (Thailand) Co., Ltd.

トップメッセージ

TATは2002年の創立以来、22年間にわたり自動車エンジンに搭載されるタイミングチェーンシステム部品を製造販売し、ASEANの自動車産業の発展に大きく寄与してきました。また、2023年10月からはグループ会社のTsubaki Motion Control (Thailand) Co., Ltd. (以下、TMT)を吸収合併し、従来TMTが担っていた自動二輪車部品のスタータークラッチの製造販売も開始しました。創業以来培ってきた高い技術力と品質で、大手自動車メーカーをはじめとするお客様から数々の表彰をいただいています。今後も安全・品質・顧客の信頼をモットーにして、ASEANにおける自動車および自動二輪車ビジネスの発展に向け、さらなる貢献を果たしていくとともに、TATのスローガンである「Let's adapt to change for survival」の精神で、将来を見据えた新規ビジネスの探索や市場調査にも取り組んでいきます。

中 篤
[なか あつし]
Managing Director



TATのここが自慢です！



20余年の歴史を持つTATは、社員が会社を第二の我が家と思えるような、前向きな職場環境の確立を目指しています。従業員間のリレーションを促進するための活動のひとつに、「社員旅行」があります。旅先のリラックスした環境で従業員の連携を強化し、チームメンバー間の相互信頼を築くことを目的とした毎年恒例のイベントで、本年も盛況のうちに終えることができました。また、TATはすべての従業員を平等かつ公平に扱い人権を守るという原則を堅持しており、今年度はその方針が認められ、タイ労働省から、2024年労働管理優秀賞を授与されました。



紹介者
Nahdi Pansri
HR&GA Manager

「カオキアオ・オープン・ズー」は、パタヤの北東約50km、TATからは約30kmの距離に位置するタイ最大の野生動物公園です。1,977エーカー（東京ドーム約172個分）の敷地に、300種・8,000頭以上の様々な動物が暮らしています。可能な限り自然環境に近い形で飼育されている動物を見ることができるので、家族でのお出かけにも最適です。世界的に有名なカバの赤ちゃん「ムーデン」に会うこともできます！



チェーン事業

産業用スチールチェーンは世界シェアNo.1

モノが動くところに「チェーン」あり。国内外の様々な産業向けに、世界シェアNo.1の産業用スチールチェーンをはじめとした約2万種類のラインアップから生産性向上、省エネ、環境改善に繋がる最適なチェーンを最高の品質でお届けしています。

【主要商品】

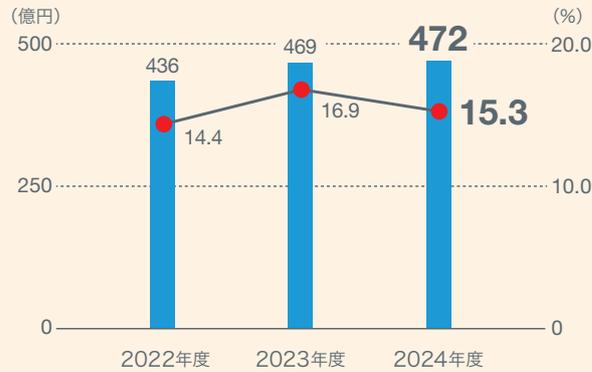
ドライブチェーン、コンベヤチェーン、スプロケット、ケーブル・ホース支持案内装置など

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比*1

34.0%

売上高*2/営業利益率 (中間連結会計期間)



モーションコントロール事業

減速機、直線作動機などの豊富な商品群

「Motion & Control」の分野で、独自の複合化技術と豊富な品揃えを生かし、産業機械の複雑な動きを精密にコントロールするモーションコントロール商品群。舞台の昇降装置や立体駐車場、アーケードの屋根開閉、風力発電や駅ホームの可動柵など、様々な「動かす」ニーズに的確にお応えしています。

【主要商品】

減速機、直線作動機、軸継手、締結具、クラッチ、電気式制御機器など

セグメント別売上高構成比*1

8.2%

売上高*2/営業利益率 (中間連結会計期間)



2024年度中間期の概況

チェーンにつきましては、日本での販売が増加したことや、円安影響などにより、前年同期比で増収となりました。モーションコントロールにつきましては、米州、欧州、環インド洋、中国での販売が減少しましたが、日本、韓国・台湾での販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

専務執行役員
パワトラ事業統括
永井 康詞



モビリティ事業

エンジンの高性能化を支える タイミングチェーンシステム

自動車エンジンの高性能化、エコ化に寄与するタイミングチェーンシステムは、国内68%、世界40%とトップシェア。その技術と品質は、世界の自動車メーカーから高い信頼を獲得しています。また、EVやe-Bikeなど次世代モビリティの分野でも、エネルギーロス・CO₂排出量削減への貢献を目指しています。

【主要商品】

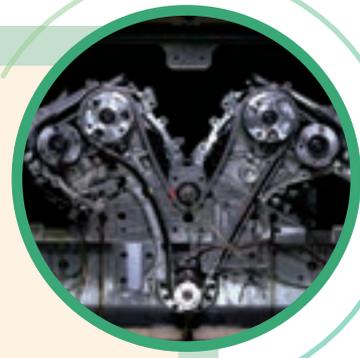
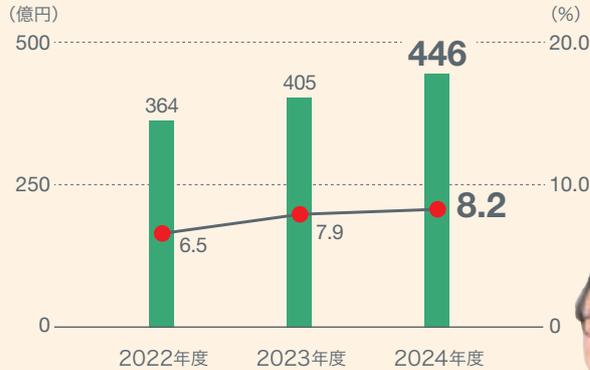
タイミングチェーン、テンショナ、ガイド、レバー、スプロケット、トランスファーケース用チェーン、車載用クラッチなど

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比*1

32.8%

売上高*2/営業利益率
(中間連結会計期間)



2024年度中間期の概況

米州、欧州、韓国などの拠点において自動車エンジン用タイミングチェーンシステムなどの販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。



常務執行役員
モビリティ事業統括
佐藤 功

マテハン事業

生産性向上に寄与する ソリューションを提供

物流センターにおける自動仕分け装置は、国内シェア70%超。超低温自動保管庫「つばきラボストック®」は、創薬やDNAなどの研究に寄与しています。その他、自動車塗装ライン搬送設備や粉粒体搬送コンベヤなど、お客様の生産性向上、環境負荷低減に寄与するソリューションを提供しています。

【主要商品】

物流業界向けシステム、自動車業界向けシステム、ライフサイエンス分野向けシステム、粉粒体搬送コンベヤなど

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比*1

24.2%

売上高*2/営業利益率
(中間連結会計期間)



2024年度中間期の概況

欧州における金属切屑搬送・クーラント処理装置の販売が減少しましたが、米州における自動車業界向けシステムや、日本における物流業界向けや自動車業界向けシステム、粉粒体搬送コンベヤなどの販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

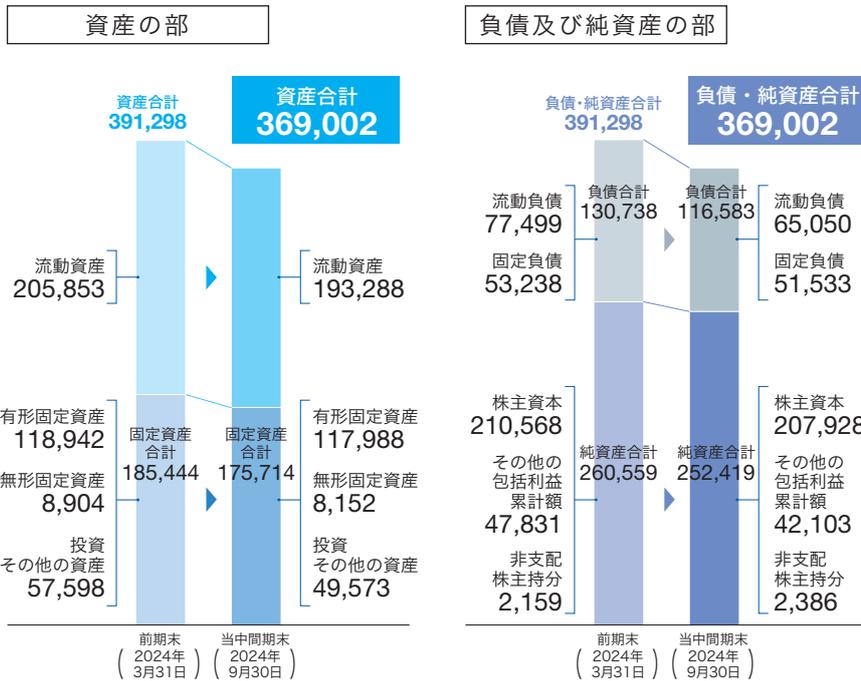
常務執行役員
マテハン事業統括
岡本 雅文



*1 セグメント別売上高構成比は「外部顧客に対する売上高」を基準に算出しています。
*2 売上高には「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

連結貸借対照表の概要

(百万円)



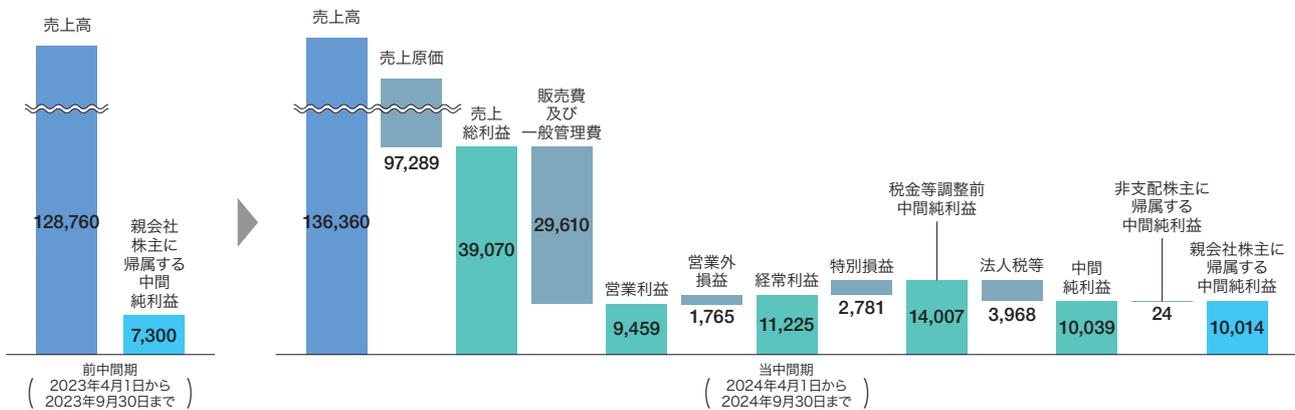
さらに詳しい財務データは、当社ホームページの「IRライブラリ」をご覧ください。

ツバキモト IR

<https://www.tsubakimoto.jp/ir/library/>

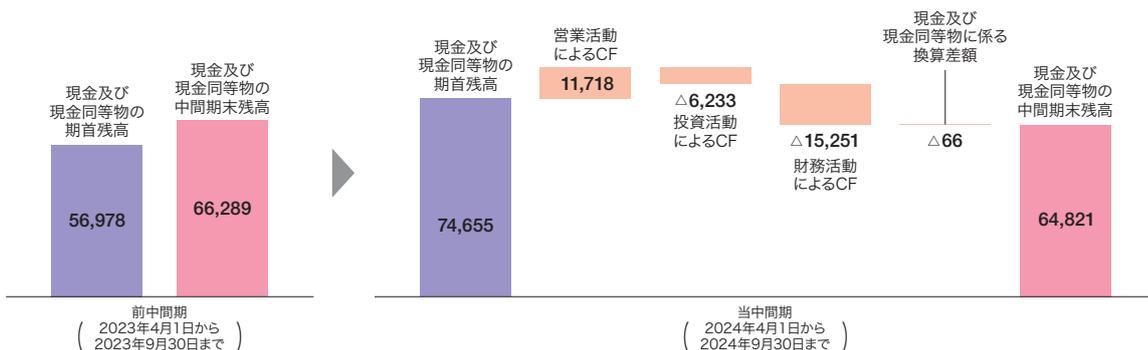
連結損益計算書の概要

(百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



2024年9月

超小形ローラチェーン「エプシロンチェーン™」 世界最小のローラチェーンとしてギネス世界記録™に認定

2024年10月1日に発売を開始したピッチ*1.905mmの「エプシロンチェーン」が、世界最小のローラチェーンとしてギネス世界記録に認定されました。

エプシロンチェーンは、従前の当社最小ローラチェーンの約半分の長さとなるピッチサイズを実現。これまでチェーンでは困難だった極めて小スペースでの動力伝達が可能となりました。産業用ロボットや医療・福祉機器をはじめ、機械設備の小型化・高精度化に貢献するとともに、これらの機器のさらなる普及による製造現場の省力化・省人化へ貢献します。

※ 1リンクのピンとピンの間隔



京田辺工場(京都府)でのギネス認定式の様子

2024年9月

株式会社木田屋商店のアグリ事業を買収 農作物栽培・販売子会社「株式会社ツバキベジムーブ」を設立

当社は、アグリ事業拡大を目的として、「株式会社ツバキベジムーブ」を設立、当該子会社を通じて株式会社木田屋商店のアグリ事業を買収しました。

当社アグリビジネスは、植物工場向け自動化システムを開発、製造・販売しており、現在は人工光型植物工場の次世代モデル「福井美浜工場」を建設中(2025年7月竣工予定)です。木田屋商店アグリ事業の植物工場業界トップクラスの栽培ノウハウと販売実績、さらに当社アグリビジネスの自動化システム技術・開発機能を組み合わせることによりシナジーを創出し、アグリ事業拡大、ひいては持続可能な農業の実現へ貢献します。



つばきのサステナビリティ



15年目を迎えたタイのマングローブ植樹活動 地道な活動を継続し地球温暖化対策に貢献

「特集 海外子会社探訪」ページでご紹介したTsubakimoto Automotive (Thailand) Co., Ltd.では、2008年よりマングローブの植樹活動を行っており、15回目となる2023年度は3,200本、15年間の累計で38,953本を植樹しました。これは、487トンのCO₂削減効果にあたります。

また、マングローブ植樹と合わせて、水タンクや医療品の寄贈、野生動物の保護活動(塩分・栄養剤の補給活動)、従業員が持ち寄りリサイクル品の販売収益を小学校に寄付するなどのCSR活動も展開しています。



年々参加者が増えるマングローブ植樹活動

会社概要

商号 株式会社椿本チエイン
 本店所在地 大阪府北区中之島3丁目3番3号
 設立年月日 1941年(昭和16年)1月31日
 資本金 17,076百万円
 工場 京田辺、埼玉、長岡京、兵庫、岡山
 支社 東京、名古屋、大阪、DX・IT池袋ベース
 営業所 大宮、豊田、大阪北、広島、九州
 関係会社 連結子会社：65社 非連結子会社：10社
 関連会社：8社(うち、持分法適用関連会社2社)
 従業員数 連結8,814名 単体3,087名
 (従業員数には契約社員、パート、アルバイトを含んでおります。)

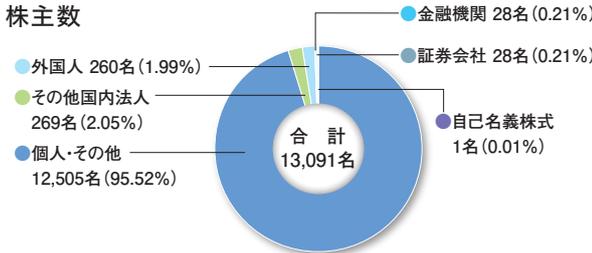
役員

代表取締役会長兼CEO	古世 憲二	上席執行役員	Kevin Richard Powers
代表取締役社長兼COO	木村 隆利	上席執行役員	揚田 利浩
取締役	宮地 正樹	上席執行役員	石田 裕美
取締役	安藤 圭一(※1)	上席執行役員	埜和 伸光
取締役	北山 久恵(※1)	上席執行役員	丹山 太
取締役	谷所 敬(※1)	上席執行役員	川上 修
常勤監査役	田中 浩司	上席執行役員	明坂 泰宏
常勤監査役	川崎 加寸也	上席執行役員	前田 隆雄
監査役	内藤 秀文(※2)	執行役員	熊倉 淳
監査役	川崎 清隆(※2)	執行役員	藤村 昌由
専務執行役員	永井 康詞	執行役員	中久保 克也
常務執行役員	中村 一智	執行役員	佐伯 充史
常務執行役員	西井 久雄	執行役員	吉村 信彦
常務執行役員	岡本 雅文		
常務執行役員	佐藤 功		

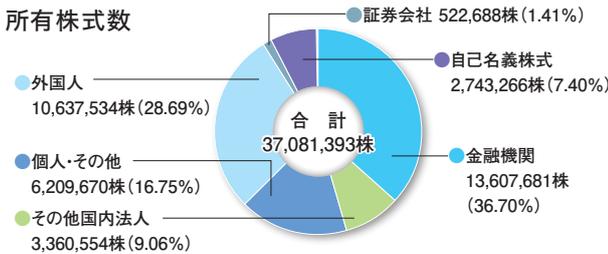
(※1)取締役のうち安藤圭一氏、北山久恵氏および谷所敬氏は社外取締役です。
 (※2)監査役のうち内藤秀文氏および川崎清隆氏は社外監査役です。

株式の所有者別分布状況

株主数



所有株式数



株主の皆様へのお知らせ

各種手続のお申出先

- 住所変更、配当金の受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

区分	お申出先
証券会社でお取引をされている株主さま	株主さまの口座のある証券会社
特別口座(証券会社に口座のない)の株主さま	三井住友信託銀行株式会社 (上記、電話照会先をご参照ください。)

株式の状況

発行可能株式総数 59,800,000株
 発行済株式の総数 37,081,393株
 株主数 13,091名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,008千株	11.67%
太陽生命保険株式会社	3,183	9.27
椿本チエイン持株共栄会	1,620	4.72
日本生命保険相互会社	1,379	4.02
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,241	3.62
椿本興業株式会社	1,158	3.37
株式会社日本カステディ銀行(信託口)	1,051	3.06
株式会社三井住友銀行	1,000	2.91
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	575	1.68
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	561	1.63

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 当社は、自己株式2,743,266株を所有しておりますが、上記大株主には含めておりません。
 3. 持株比率は、自己株式2,743,266株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間9:00~17:00(土・日・休日を除く) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告の方法	当社のホームページに掲載 (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載)

特別口座について

株券電子化の手続(証券会社の預け入れ)が済んでいない株式は、特別口座にて管理されています。特別口座は株式を売買するための取引口座ではありませんので、株式の売却の際は、あらかじめ証券会社の口座へ振り替えておく必要があります。詳細は、三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。

未払配当金の支払について

三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。

株主通信(事業のご報告)に関するお問い合わせ先

経営企画室 経営企画課

06-6734-6676

株式会社 椿本チエイン

<https://www.tsubakimoto.jp/>

椿本チエイン

検索

